

平成23年度宮沢賢治記念館運営審議会会議録

出席委員 阿部弥之（会長） 押切郁（会長職務代理者） 高橋修 高橋則子 中島健次
三浦公明

欠席委員 菊池英雄

事務局 佐藤館長 牛崎副館長 伊藤副主査 中島学芸員 太田社会教育指導員

1 開会 牛崎副館長

2 あいさつ 佐藤館長

4月より館長就任のあいさつ

職員紹介 ほか

3 議事

(1) 平成22年度事業報告について 牛崎副館長説明

- ・阿部会長 1月20日に行われた市の定期監査にて、自筆原稿等が確認されたということだが、その内容を詳しく教えてもらいたい。
- ・牛崎副館長 今回の監査では、収蔵リストにそってすべて現物と合わせて確認された。直筆原稿についても、収蔵庫においてすべて確認された。
- ・押切委員 今でも寄贈されるものはあるのか？
- ・牛崎副館長 21年度の場合は、細川氏より、宮沢賢治直筆の書の寄贈は大きなことでした。また、22年度は東京で「賢治の学校」を運営している鳥山敏子さんから、賢治の農学校時代の教え子の映画を作った際の取材ビデオが送られてきて、緊急雇用予算での職員によって、現在DVDにデジタル化しながら内容を確認しております。

(2) 平成23年度事業計画について 牛崎副館長説明

- ・押切委員 これまで「風のセミナー」と呼んでいた、市内小・中学校への出前講座が今度は賢治記念館にて復活するというので、とても良いことだと思っています。特にこのセミナーは、賢治の研究者はもちろん、地元の人たちとも共同で実施できるところがいいです。
- ・中島委員 賢治記念館30周年事業について、賢治のまちづくり委員会との関係がよくわからない。
- ・牛崎副館長 昨年の運営審議会でも審議いただきました「賢治ゾーン」の見直しについて、単に矢沢周辺の問題にせず、広く花巻全体の課題として、市民による委員会を立ち上げようとのことで設立されました。
- ・佐藤館長 市が最初に提唱し、委員の中から「賢治・星めぐりの街活性化協議会」

の会長の木村清且さんが会長となりました。

- ・三浦委員 ゾーンの見直しはとても大切で、単に宮沢賢治専門ばかりでなく、環境とか、自然についても案内してくれるような、さまざまなレベルや分野での案内体制が必要である。
- ・高橋（則）委員 早池峰賢治の会では、展示館を入りに、早池峰山への登山案内などを展開し好評です。
- ・三浦委員 記念館に物を集めて終わりではなく、現在の企画展「遠野と賢治」のように、これをきっかけに遠野に出かけたり広がりのあることが大切ではないか。
- ・阿部委員 賢治さんはさまざまな分野で間口が広いので、ボランティアを広げる工夫が必要だと思う。
- ・押切委員 賢治作品にも登場する「おきな草」の寄贈があり植えつけたのですが、その後どうですか。以前記念館に植えた「おきな草」がすべて持っていかれたということは悲しいことです。
- ・太田社会教育指導員 今年は大丈夫です。ただあまりそのことを宣伝すると持って帰る方があるかもしれません。
- ・佐藤館長 だからといって、完全に秘密にしておくというのも駄目でしょうから、状況をみて判断していきたい。
- ・高橋（修）委員 ワークショップをやるときは、次世代の人たちを養成するということを考えに入れなくてはいけない。

4 その他（委員、事務局ともなし）

5 閉会 佐藤館長

閉会后、企画展「遠野と賢治」を案内